



9月 スタート！

夏休みが終わり、学校に子供たちの声が戻ってきました。「やっぱり、学校はこうでなくちゃなあ」と思うと、廊下を走る物音さえ、何となくうれしい気持ちになってきます。（すぐに、「廊下は走るなあ！」と注意するのでしょうか…）

この夏休み、本校では、大きな事故や事件についての報告はありませんでした。子供たちが安全を意識して生活できたことはもちろん、保護者や地域の皆さんが温かく声をかけて見守ってくださったおかげだと感謝しています。



【校庭から保健室への入り口はこんな感じ…】

今年の夏は、「今までで最も暑い夏だった」などと言われています。残暑が厳しいという予報ですが、子供たちは、みんな元気で、落ち着いた生活をスタートしました。

とは言え、長期の休み明けで、お子さんの体調の変化や心の様子について、何か気になることがありましたら、ぜひご連絡ください。学校からも連絡を差し上げます。

自分で考えて…

「8割がた、マスクを外すようになったかな？」登校する子供たちとあいさつを交わしていると、多くの子供たちがマスクを外すようになっていました。

現在のところ、心配されていた夏休み明けの新型コロナ感染症の広がりはありません。ただ、未だに完全になくなったわけではなく、今後も基本的な感染対策は必要です。

学校では、子供たちに対して、手洗い、換気をしっかりとすること、通学時、外遊び、体育のときなどにマスクを外すように繰り返し話しています。マスクについては、国や県の「衛生管理マニュアル」で「着用を求めない。」「熱中症対策を優先する。」とされていることから、着脱については個人の判断としていますが、時と場に応じて外すように声をかけています。

特に、マスクについては、「発達」や「成長」という観点で様々な問題が出てくるのではないかとされています。人間は子供のうちに多くの表情と触れて人を認知し、表情によって感情を読み取る力を付けていくことが大切です。ここ数年は、素顔に出会えるのは家族だけというような状況が続きました。

嗅覚も同じです。嗅覚は五感の中で最も危険を察知する機能に長けていて、食欲にも影響を及ぼす大事な感覚です。20歳をピークに衰えていくと言われているようです。若いうちに鍛えていく必要がありますが、マスクは嗅覚にも影響を及ぼします。また、マスクで病原菌を排除しすぎることによって自己免疫力が弱くなる恐れも指摘されています。

夏休み前の猛暑の際には、子供たちにマスクを外すように声をかけると、なかなか外せない様子が見られました。「素顔を見せるのが恥ずかしい」「この方が楽」と自分を隠すために使われていた気がします。成長の過程にある子供たちにとって、心と体の発達や成長の面からも自分で考えてマスクを外すことができるようにしたいと考えています。

保護者の皆さんはどうお考えですか？



【夏休み明けの給食。いい匂いで食欲アップ？美味しかったかな？】